

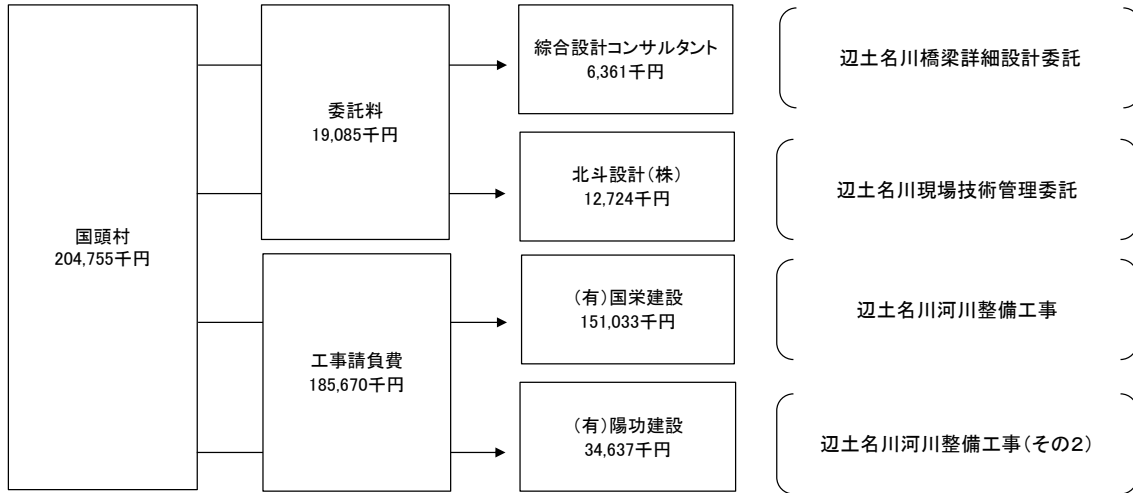
市町村名		国頭村					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	多自然川づくり事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(7)-イ		
担当部署名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流と共創による農産漁村の活性化 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客や環境教育の場としての活用を図るため、中心市街地を流れる普通河川(辺土名川)の整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	
	(a) 当初予算額	142,000	162,104	67,000	195,536	-	
	(b) 予算現額	138,589	187,041	59,734	205,943	-	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,411	24,937	▲ 7,266	10,407	-	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	77,888	
	A. 計(b+d)	138,589	187,041	59,734	205,943	77,888	
	B. 執行済額	138,208	186,813	52,639	128,055	76,700	
	うち交付金充当額	110,566	149,450	42,111	102,444	61,360	
	次年度繰越額	-	-	-	77,888	-	
	執行率(%) (B/A)	99.7%	99.9%	88.1%	62.2%	98.5%	
予算の状況の説明	工事区域内において特別高圧電柱の移設に関する調整に不測の日数を要したことから、現場技術管理業務委託費及び工事費77,888千円をH31年度へ繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	河川工事の実施(L=245m)	目標	(河川工事の実施)	(河川工事の実施 L=188m)	(河川工事の実施 L=30m)	(河川工事の実施 L=245m)	
		実績	河川工事の実施	河川工事の実施 L=111m	河川工事の実施 L=51m	河川工事の実施 L=268m	
	現場技術管理業務の実施	目標	()	()	()	(管理業務の実施)	
		実績				管理業務の実施	
	橋梁詳細設計業務の実施	目標	()	()	()	(詳細設計業務の実施)	
実績					詳細設計業務の実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 河川工事について、当初、整備延長L=245mで発注したが、入札残にて更にL=23mの工事を発注したことにより、整備延長はL=268mとなった。 現場技術管理業務について、河川工事と並行して実施した。 橋梁詳細設計業務について、橋梁架替の詳細設計を実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R4年度)
	河川工事整備率 73%(686m/全体延長L=1,200m)	目標	()	(31% 330m)	(41% 360m)	(73% 686m)	()
		実績		28% 330m	39% 381m	76% 649m	
	【R4成果目標】整備した河川沿いにある商店街の観光誘客イベント参加者数 720人	目標	()	()	()	()	(720人)
		実績					
	【R4成果目標】整備した河川での環境学習参加者数20人	目標	()	()	()	()	(20人)
		実績					
進捗状況説明	(河川整備工事) ・河川整備について、工事発注後の入札残により、整備延長を延ばしたことで目標値を上回った。 (成果目標) ・各年度の目標値及び実績値について、平成28年度は全体延長に対する整備延長累計の整備率になっている。平成29年度及び平成30年度は、全体事業費に対する事業費累計の整備率となっている。各年度で目標値の考え方が違うことや、全体事業費に対する事業費累計の整備率にした場合、計画変更等により全体事業費が変動することから、今後においては、目標値を全体延長に対する整備累計延長の整備率に統一することで変更する。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(河川整備工事) ・本河川工事の区域内に、特別高圧電柱があり、沖縄電力と平成30年6月までの移設に向けた協議を重ねてきたが、沖縄電力による地権者の架線にかかる用地交渉に期間を要したこと、また、平成30年7月以降の異常な台風襲来により、沖縄電力が台風対策及び復旧作業を優先せざるを得ない状況等が重なり、移設時期の調整に不測の日数を要したことから、年度内に完了できなかった。	(河川整備工事) ・今後、実施する工事等においては、地域住民及び関係機関との調整や情報共有を徹底して、工事発注時期及び工事の進捗に影響がでないようにする必要がある。
	(成果目標) ・目標値の算出に必要な基礎数値が事業費累計となっており、計画変更等により変動することから、安定した正確な目標値の設定ができていない。	(成果目標) ・目標値の算出に必要な基礎数値を安定した正確な数値に変更する必要がある。

今後の取り組み方針
(河川整備工事) ・R1年度の整備区間は上流側のL=85m及び橋梁架替を整備する予定である。本区間は住民生活と密接に関わる区間となっており、住民説明会等による情報共有を図り、円滑に整備を進めていく。
(成果目標) ・R1年度から目標値の算出に必要な基礎数値を全体延長にすることで、安定した正確な目標値を設定する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
204,755	204,755	163,804	40,951	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事施工事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	